

着任紹介

医師2人、地域おこし協力隊員2人、名護市からの派遣職員が平成31年4月に着任しました。



地域医療の推進に待望の医師2人が着任

4月から西根病院の副院長兼内科長に梶原隆医師が、安代診療所長に長嶺進医師が就任しました。

全国的に医師不足の問題を抱える中、本市で勤務し、患者に寄り添った地域医療を進めていきます。

西根病院副院長兼内科長

梶原 隆 医師



【略歴】 自治医科大学卒。平成18年5月から28年9月まで岩手医科大学糖尿病代謝内科助教、同年10月から31年3月まで盛岡市立病院糖尿病代謝内科第二科長兼健康管理科長を務める。46歳。盛岡市出身。

安代診療所長

長嶺 進 医師



【略歴】 金沢大学医学部卒。平成24年4月に県立中央病院中央手術部長となり、27年4月から31年3月まで同病院の副院長を務める。65歳。福島県会津美里町出身。

地域おこし協力隊に新たな仲間が加入

地域おこし協力隊辞令交付式は4月1日、市役所で行われ、新隊員の吉田力さんと福田光希さんに辞令書を交付しました。



新たに地域おこし協力隊に加わった(左から)吉田さんと福田さん

吉田さんは東京都大田区出身の31歳。約6年間のアメリカ暮らしで得た語学力を生かし、東京五輪ホストタウンの相手国ルワンダとの交流促進に努めます。

福田さんは福島県猪苗代町出身の22歳。フリーランスを対象とした主催のさすらい合宿に参加したことがきっかけで、隊員に応募しました。市とフリーランスを結び付ける仕組み作りを目指し、シティブロモーションに取り組みます。現在、新任の2人を含めて同隊員は7人です。

名護市と相互に職員を派遣

4月から、沖縄県名護市職員の神山知恵さんが、農林課に勤務しています。これは、友好都市の名護市と相互に職員を派遣し、実務研修を行うことを目的としたものです。

「沖縄で体験できないことをたくさん経験したい」と笑顔を見せる神山さん。派遣期間は1年で、3月末まで配属される予定です。



残雪の岩手山を背景に神山さんをパシャリ(雪が解けた後にはいざ頂へ)